

# 地域開発特別委員会会議録

日 時 平成23年1月16日(水) 午後1時30分

場 所 第一委員会室

## 協議事項

- 1 新体育館に関するアンケート調査結果について
- 2 その他

## 出席委員

委員長	鈴木	明子	君	副委員長	横沢	英一	君
委員	永田	公由	君	委員	西條	富雄	君
委員	務台	昭	君	委員	金子	勝寿	君
委員	青柳	充茂	君	委員	中原	巳年男	君
委員	五味	東條	君	委員	中村	努	君
委員	塩原	政治	君				

## 欠席委員

なし

## 説明のため出席した理事者・職員等

市長	小口	利幸	君
副市長	米窪	健一朗	君
生涯学習部長	加藤	廣	君
体育施設係長	青木	敏彦	君
体育施設係	丸山	敏明	君
特定非営利活動法人SCOP			
主任研究員	北村	大治	君
研究員	畠山	克憲	君

## 議会事務局職員

事務局長	成田	均	君	事務局次長	小松	俊夫	君
議事調査係長	小澤	秀美	君				

午後1時30分 開会

委員長 皆様どうも、きょうも御苦労さまでございます。ただいまから地域開発特別委員会を開会してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。本日始まる前にですね、このアンケートの集計に携わりましたS

COPさんが、きょう出席させていただいておまして、また必要に応じて発言もしていただくようなことも必要になってくる場合もあるかと思いますが、御了承をいただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**委員長** お願いいたします。それでは、ごあいさつがあれば、市長から。

### 理事者あいさつ

**市長** 特別委員会、御参加いただきありがとうございます。本日の議題は、大きくは1点だけということになっているのですが、かねてからいろいろ御議論いただいてまいりました新たな体育館に関するアンケート調査結果がまとまりましたので御報告を申し上げ、今後の検討の材料としていただきたいというような案件でございます。既に新聞報道もされておりますが、有効回収率では52.4%、その後208通のですね、10月4日から10月31日までを加えますと、54%になりますか。そんな形で、他の国、自治体からも近年あまり聞いたことのない高い回答率のアンケートになっているものをですね、私自身もうれしく思っておる次第でございます。そんなデータをもとにですね、12月議会が始まりますし、また、3月には予算議会ということになりますので、決して結果を先送りすることなくですね、確実に責任を持って双方の議論の中で検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。以上です。

### 新体育館に関するアンケート調査結果について

**委員長** それでは、趣旨に基づきまして進めてまいりたいと思います。それでは、アンケートの結果について加藤部長のほうからお願いいたします。

**生涯学習部長** お願いします。御説明する前に、前任者、体調不良によりましてですね、私、11月1日からでございますけれども、スポーツ振興課長と、生涯学習部長も兼ねてという辞令をいただいておりますのでよろしくをお願いいたします。

それでは、アンケートの調査報告ということで御説明をさせていただきたいと思います。申しわけございません、その前にですね、それぞれのお手元のテーブルに1枚ペラがございます。大変申しわけございません、39ページについて一部見出しの現体育館で十分等々、手狭とかのこの部分で誤りでありましたので、差しかえをさせていただいてございますので、大変申しわけございません、よろしくどうぞお願いいたします。大変申しわけございませんでした。

それでは、お手元の資料1ページ目をおめくりいただきまして目次がございます。目次につきましては、それぞれこの冊子の中の構成について記載をさせていただいておりますので、それぞれごらんいただきたいと思えます。なお、アンケートの内容につきまして、どのようなものが送付されたかという部分につきましては63ページ、巻末にですね、添付をさせていただいておりますので、それぞれごらんいただきながらお願いしたいと思います。

それでは1ページでございます。1ページにつきましては、それぞれ調査実施の概要等について記載をさせていただいてございます。これにつきましては、3回の特別委員会を経ていただきまして御苦労いただきまして、決定させていただいたものでございますので、省かさせていただきます。なお、9月16日には、礼状を兼ねな

から全員の方に、もしお出しになっていなければぜひお出しくださいという礼状を送付させていただきました。それによって回収率も上がったかと思えます。また、回収率につきましては、先ほど市長が申し上げたとおり、またマスコミ報道されているとおりでございますので、よろしくお願いたします。

それでは、ページをおめくりいただきまして2ページでございます。2ページにつきましては、このアンケートの集計をするに当たっての留意事項についてでございます。それぞれ小数点以下2位を四捨五入をさせていただいております、合計数値については100%にならない場合もございます。また母数であります合計値についてでございますけれども、各設問毎に誤記又は無回答、それぞれでございます。これによって、項目ごとに合計数値が変わってくる場合がございますので御了承お願いたします。また、問4に対する回答のないものについては、分析からすべて除外をした数値で計上をさせていただきました。また、グラフ中の表記についてでございますけれども、表記の便宜上でございますが、10代は15歳以上を対象とさせていただいたということでございまして、10代という表示をさせていただいております。また、70代につきましては、70歳以上を対象とさせていただきましたけれども、70代という表記でもって記載をさせていただいておりますので、御理解をお願いしたいと思います。

それでは3ページでございます。それぞれの回答者の属性、性別、年代、居住地別にそれぞれ分析をさせていただきました。性別では、やや女性の回答が多くなっております。また、年代別では60歳以上の回答が目立ちまして、60代と70代でほぼ44.5%となっております、ということでございます。居住地別につきましては、広丘で21.3%で最も多くなっております。次いで大門の15.2%、吉田の12.2%の順となっております、これにつきましては、ごらんいただいているとおり、人口とほぼ同順となっているということでございます。

ページおめくりいただきまして4ページでございます。問4で、あなたは新体育館の建設についてどのようにお考えですか。以下の選択肢の中から1つだけ選んでお答えください、という問4の回答を求めたものでございます。それぞれの回答につきましては、新体育館は合併特例債が使える期限の平成26年度までに建設すべきというのが。といたしまして、新体育館は経済状況や財政状況を見極めて平成26年度以降に建設すべきということが。といたしまして、建設すべきでない。またとしまして、わからないということでの回答を求めたものでございます。これにつきましては、表の中、それぞれ円グラフ等で表示させていただきましたけれども、平成26年度までに建設すべきとした方につきましては1,899人、37.3%でございます。回答者全体では5,093人でございます。平成26年度以降に建設すべきと答えた方につきましては593人、11.6%です。建設すべきでないと答えた方につきましては2,075人、40.7%、わからないとお答えになった方については526人、10.3%というような結果でございました。

また5ページにつきましては、それぞれ新体育館の建設に関する意向に関する属性の集計でございます。性別、年代別、居住地別にそれぞれ記載になっております。ごらんいただいているとおりでございますので、省略をさせていただきます。

またページおめくりいただきまして6ページでございます。設問5でございます。問4で平成26年度までに建設すべき、又は、平成26年度以降に建設すべきとお答えいただいた方にお聞きしたものでございます。理由について、できるだけ近いものについて2つ以内でお答えくださいという問をさせていただきました。これにつ

きましては、平成26年度までに建設すべきの理由として、災害時に避難場所として利用できるが827件と最も多い数値でございました。また、次いで合併特例債で建設時の財政負担が減少できる789件というような部分でございます。以下、表に記載させていただいているとおりでございますので、よろしく申し上げます。また、7ページでございます。性別で見た理由でございます。性別で集計しますと、災害時に避難場所として利用できると回答した女性の比率が25.3%となりまして、男性の19.6%より高くなっているという状況でございます。その他の項目については、特徴的に大きな差は見られておりません。また、8ページでございます。年代別で見た理由でございます。それぞれ年代別、表をお示しさせていただいておりますけれども、10代において、公式試合の会場として利用できる、の比率が19.7%と高くなっておりまして、災害時に避難施設として利用できるなど、どの年代においても高い比率となっております。また60代、70代において、合併特例債で建設時の財政負担が減少できると回答する者が、他の世代と比べてやや高くなっているということでございます。また地域別で見た理由でございます。これにつきまして、災害時に避難施設として利用できる、を理由にあげた回答の比率が、19.1%から24.9%でございまして、6つの地区で一番高くなっております。避難の必要性に対する関心が高いことが分析されてきております。

ページおめくりいただきまして10ページでございます。10ページにつきましては、自由記述の回答について分析をさせていただきました。自由記述の記入者につきましては、回答いただいた方の51%が問8で回答をいただきました。分類につきましては、それぞれ1つの項目、問8で書いてある中に大変多くの意見、2つ、3つという意見を記載になっておりますので、集計につきましては回答数、人数とは一致してこないということでございます。まず、平成26年度までに建設すべきという意見の方につきましては、1,541件のそれぞれの御意見をいただいたところでございます。それぞれ詳細については記載をされておりますけれども、18ページをごらんいただきたいと思います。それぞれの部分については、後からお目をお通しいただければと思いますけれども、18ページでございますが、平成26年度までに建設すべきとしている回答者の自由記述に1,541件の意見があり、平成26年度までに建設すべきだが、費用、建設費、維持費、税負担に懸念がある、が163件と最も多い意見となっております。税負担というのは、回答なさった方が、ほかの部分にですね、税金が行っちゃうじゃないかとかですね、そういう部分を称してですね、税負担という部分を表示させていただいておりますので、ちょっと読みにくい部分になっておりますが、よろしくお願ひしたいと思います。2つ目でございますけれども、体育館建設に際して要望が多く見られ、特に駐車場を充実してほしい、また管理をしっかりしてほしいが138件、避難所機能を充実させてほしいが130件、建設場所・アクセス等について配慮してほしい126件というのが主な意見になっております。平成26年度までに建設すべきという具体的な理由について述べた意見はあまり見られませんでしたけれども、あくまでも賛成という方について、意思表示で、またあえて理由を書かなかったのかなというのが、私どもの分析したところでございます。

**委員長** 座って。

**生涯学習部長** じゃあ、座らせていただきます。それでは、続きまして19ページでございます。平成26年度までに建設すべき、又は、平成26年度以降に建設すべきというお答えをいただいた方に、やはり2つ以内で理由を、近いものをお答えくださいというところでございます。これについては944件の御意見をいただきました。また、この中では、20ページでございますが、避難場所として利用できるが306件と、一番多い数値

になっております。次いで、スポーツ以外の大規模イベントの会場として利用できるが151件という回答件数になっております。また21ページでございます。平成26年度以降に建設すべき、属性の分析でございまして、性別で見た場合でございます。男女とも、災害時の避難場所として利用できるとの回答が最も多くなっておりまして、女性の回答比率が男性よりも若干高くなっているということでございます。続きまして22ページでございます。年代別に見た理由でございます。平成26年度以降に建設すべきという部分について、年齢別で見たものでございますけれども、これにつきまして、災害時に避難施設として利用できるがどの年代においても最も高い比率となっております、ということが、第一にあげられております。また、10代、50代において、現市立体育館で手狭になっていると回答する者が、他の世代と比べてやや高くなっております。また30代において、市立体育館では手狭になっていると答えた者の比率が特徴的に少ないということでございます。これ、表の中です、コンマゼロという表示になって黒い部分がございまして、30代で。ちょっと2が欠けてしまっておりまして、2.0ということでございますので、55ページの添付資料とあわせてごらんいただければと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。また、スポーツ以外の大規模イベントの会場として利用できる、また、災害時に避難施設として利用できると答えた者の比率が、全年代で最も高くなっているという特徴的な部分がございます。23ページ、居住地別で見た理由でございます。これにつきましては、災害時に避難施設として利用できる理由をあげた回答比率が、どの地区でも一番高くなっております。これはすべて、全市的にも同様の傾向でございまして、中でも榑川地区においては41.7%というような高い比率になっております。また、高出地区、北小野地区、榑川地区においては、現市立体育館では手狭であると回答する者の比率が、他の地区に比べて低くなっておるという状況があらわれております。

続きまして24ページでございます。アンケート8の自由記述の中で、平成26年度以降に建設すべきという部分について記載をさせていただきました。これにつきましては、502件の御意見をいただいております。それぞれの平成26年度以降についての理由等々について、24ページから31ページに理由集計をさせていただいておりますけれども、32ページをごらんいただきたいと思います。32ページでは、平成26年度以降に建設すべきという自由記述の集計を体系的にさせていただいております。平成26年度以降に建設している回答者の自由記述が502件、トータルでございました。建設するとした場合の要望に関する意見が多く見られました、ということで206件。次いで、建設に対する懸念が多いということで154件。また、建設を推進する意見については27件ございました。以上のことから、懸念材料がありつつも平成26年度以降に建設すべき、建設するならこんなような機能を強化してほしいというような姿勢が多く見られております。詳細については前ページのほうでごらんいただければと思います。

また、新体育館を建設する場所、希望する場所でございます。33ページでございます。平成26年度までに建設すべきという方の回答の中では、中央スポーツ公園エリア1,345名、72%。全体数で1,868件の回答に対してでございます。また、開発誘導エリア425件というような部分、また、その他98件というような状況になっております。

ページまたおめくりいただきまして34ページでございます。これにつきましては、平成26年度以降に建設すべきと御回答いただいた方の、それぞれの意向でございます。中央スポーツ公園エリアについては377件、66.8%。また、開発誘導エリアについては141件と、合計の564件ということでございます。

35ページについては、今まで御説明させていただいている集大成でございますので、後から詳細をごらんいただければと思います。

また、36ページでございます。建設すべきでないという回答をいただいた方の、それぞれ理由を集計させていただいております。これにつきましては、建設すべきでない理由は、大きくわけて、建設や維持費にかかわる費用面を問題としているものが多く、多額の費用がかかる、建設費がかかる、また多額の維持費がかかるが、それぞれ2,344件ございました。また、現市立体育館で満足しているのでそのまま使用すべき、現市立体育館を増改築して使用すべき、災害時の避難施設を兼ねる小規模の体育館を複数建設すべきが、1,429件ございました。全体的では、多額の維持費がかかるが最も多く、1,400件、多額の建設費がかかるが944件、現市立体育館を増改築して使用すべきが536件というような分析結果でございました。

また、これにつきまして性別で見た場合についてでございますけれども、建設すべきでない方についての回答をいただいた中で、性別で大きな差はございませんでした。また年代別で、建設すべきでないという回答をいただいた方につきましては、傾向について、多額の建設費がかかるは、年代が上がるごとに比率が下がる傾向がございました。また、多額の維持費がかかるは、10代を除くとほぼおおむね同程度の比率となっております。現市立体育館で満足しているのでそのまま使用すべきは、10代における比率が20.2%と、大変高くなっております。また、現市立体育館を増改築して使用すべきは、70代における比率19.0%が最も高くなっているという特徴的な部分が読み取れます。

39ページにつきましては、先ほど、申しわけございません、差しかえをさせていただいております。建設すべきでない理由については、居住地区別での目立った違いはございませんでした。

それでは40ページでございます。これにつきましては、建設すべきでないという御意見の方が2,401件ございました。その方につきましては40、41ページでそれぞれ記載をさせていただきました。41ページ下段でございますけれども、建設すべきでない、の理由を述べている意見は合計で1,614件、建設すべきでない意見が2,401件ございますが、そのうちの7割を占めているということでございます。また、建設すべきでない理由として、費用、建築費、維持費、税負担が高すぎるが最も高く343件。次いで、使わない、一部の人は利用しないというような部分が228件となっております。

続いて46ページでございます。46ページについては、設問の4でわからないと答えた方についての、それぞれの自由記述した理由がこちらに記載されておりますので、ごらんいただきたいと思っております。

なお、それぞれ49ページ添付資料の中でございますけれども、無作為に抽出させていただいてお名前等は全然わからないわけでございますが、タックシール打ち出しの機械上の中で数値を取りまとめ、各地区別にまとめた結果が49ページに記載になっておりますので、あわせてごらんいただければと思います。

また、60ページでございますが、締切終了後に届いた方についてのアンケートの概要について、単純集計でございますが、59、60、61ページで記載をさせております。割合については若干上がってくるわけですが、構成比については、ほぼ期限内の部分と同様であるというような状況が読み取れるかと思っております。以上、手早な、ちょっと足早な御説明でございますけれども、御説明を終わらせていただきます。

**委員長** 説明を受けましたので、委員の皆さん、御質問等あれば、ここで聞いていきたいと思っております。

**青柳充茂委員** ちょっと細かいことで申しわけないんですけども、例えば45ページのね、2-11の建設す

べきでないに対する総括、困ったところありますよね。ここをさっきの説明では飛ばしましたっけ。しなかった。しなかったかもしれないんだけど、点線で囲われた下のほうね、問8よりのすぐ上の黒ポツ、この文章がよくわからない。以上のように、建設すべきでないの意見は、費用が多額であることをはじめ、明確な理由とするものが多く見られますって、ちょっと何て言うか、文章の意味がわからないんだけど、説明していただけますか。

**生涯学習部長** 費用が多額であることをはじめ、という部分、ここにつきましては、今、委員御指摘のようにそれぞれの項目でという部分がございますけれども、費用が多額であると、また維持費がたくさんかかるという部分を理由としたものが多く見られるという部分で、ちょっと言葉足らずの部分があるかと思えますけれども、よろしくをお願いします。

**青柳充茂委員** よくわからないんだけど、意味が。文章がなんか、日本語になっているのかなという。

**委員長** そうだね、なんか文章が抜けているんじゃないの。

**市長** 明確な理由を述べるものが多く見られると。

**青柳充茂委員** そんなふうに言っていただければ、なんかわかりそうだけど。これはだれが書いたんですか、この文というのは

この受託機関はS C O Pさんとなっているけれども、S C O Pさんが書いたものですか、この報告、そのものは。

**生涯学習部長** S C O Pさんが書き、なおかつ私ども目を通させていただきましたが、今、委員さん御指摘のとおり、ちょっと言葉が足りない部分が、説明が足りない部分が合ったかと思えますので、申しわけありません。

**青柳充茂委員** もう一個ね、35ページのやっぱり点線で囲まれた中の下のほうの黒い活字のすぐ上の黒ポツ、そこもね、以上のことから、新体育館建設に対する市民の意向としては、「平成26年度までに建設すべき」か、「平成26年度以降にすべき」の双方で建設に対する慎重な姿勢が見られました、となっているけど、これも日本語の問題で申しわけないんだけど、すべきじゃなくて、すべきと括弧の双方でとなるよね。それは同意いただけますか。同意していただけますか。

**生涯学習部長** 通じない日本語と表記は、再度ちょっと検討をさせていただきますと、と、並列、双方に同じ意見がございましたので、と、というような表記になるかと思えますので。

**青柳充茂委員** それで、今の件について、委員長、まとめますから。たしかこれは予算をつけて、補正でね、お願いしてやったものだと思いますので、もうちょっとこう、お金をかけてやったと納得できるようなプロフェッショナルな報告書をつくっていただきたいなと。分析についても、すごく原始的な分析で、あまりなんか、どういう、何て言うかな、プロに依頼するほどの分析だったかどうかという感じがちょっとするっていうことは、感想だけお伝えしておきます。以上です。

**委員長** この表現については、あれですかね、検討してまた、どういうふうになるのか変わらないのかも含めて、そうですね、あした。

**生涯学習部長** 先ほど申し上げてございますが、明日の議員全員協議会でございます。今、青柳委員さん御指摘の部分について、通じない部分、再度見直してですね、委員さん御指摘の部分、大変失礼な言い方でございますけれども、再度見直して問題がなければ今おっしゃるような部分に差しかえさせていただきますながらですね、議員全員協議会に臨ませていただければと思っておりますが。

**委員長** 表記のことなので、ここですぐというわけにいかないと思いますので、そのようにしたいと思いますのでよろしいですか。

それでは、ほかにございせんか。

**中村努委員** 36ページの設問7で、すべきでない理由の中の、避難施設になる小体育館を複数建設っていう項目ありますわね。要は、そういう意見を持った方も総体的な集計の中では、建設すべきでないほうに含まれるわけですわね。その辺、同じような財源を使って同じような時期にそうしたほうが望ましいという人の意見を、建設すべきでないというほうに集約してしまっているものかどうか、ちょっと悩むところなんです。ただ、2つ以上の回答なので、ここで444って出てる数字が、そっくり動かすというわけにもいかないかと思うんですが、どういう感覚を持っていますかね。

**副市長** 設問がそういう設問だもんですからね。基本的には、このアンケートそのものは、新しい体育館、いわゆる8,000平米クラスの体育館をまず建設すべきか、建設すべきでないかというものを最初に聞いています。したがって、建設すべきでないというものの中で、じゃあなんで建設すべきでないのという理由の中で、大きいものはいらなくても小さいものは幾つかあるんだよ、だから8,000平米はいらないと、こういうこととございますので。そんな設問の仕方を議論して申し上げたいので、よろしくをお願いします。

**委員長** ほかに、ないですか。

それでは、ほかにご質問なければ、きょうはこのアンケート内容の説明をお聞きしたということで閉じていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**中村努委員** このアンケート集計が終わって、今後、こういったスケジュールで御判断されるというふうに予定してればいいですか。

**副市長** 正直に申し上げましてですね、非常に結果が拮抗しております。そういう、これは私の私見だけじゃなくてですね、客観的に見て非常に拮抗したアンケートだということで、そういう意味も込めてその理由なり、それから重複したものについてはできるだけきちんと分析するように申し上げてございました。したがって、このアンケートも若干、40対31だから、これでそのまま従って結論を出しましょうということではなくてですね、まさに市側とそれから議会含めまして、市民から結論をどうだということが問われているわけなんですけれども、12月の議会を通じてですね、しっかり議論をさせていただきたい。建設するかどうか、その辺も含めてですね、御意見をできればお聞かせ願えればありがたいかなと。よろしくをお願いします。

**中村努委員** そうすると、3月定例会あたりで何らかの判断するタイミングがあるというふうに理解してればいいんですか。

**副市長** 議会の議決という意味ではですね、申し上げるような新年度予算とか、それからその他の議決行為というのは当然あるというふうに思いますが、そうではなくてですね、きちんと議論をしたということできれば12月議会の時まで、何らかの機会を通じて議論をさせていただきたいなというふうに思っております。この委員会ももちろんそうでございますし、あるいは全協、あるいは本会議の御質問等々を通じてですね、議員の皆さんの御意見をしっかりお伺いしながら、早晚、私どもと議会と話して判断をしていくと考えております。

**委員長** ということで、よろしくをお願いします。

それでは、きょうは、この新体育館建設に関してのアンケートの集計ができたということで、結果について報



告を受けました。以上をもちまして、地域開発特別委員会を終了したいと思います。ごあいさつあれば。

### その他

委員長 その他、何かございますか。

〔「なし」の声あり〕

委員長 いいですか、失礼しました。それでは、ごあいさつあれば、いいですか。

では、以上をもちまして特別委員会を終了といたします。御苦労さまでございました。

午後2時04分 閉会

平成23年11月16日(水)

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

地域開発特別委員会委員長 鈴木 明子 印